

(様式第3号)

令和3年8月23日

議員視察報告書

赤穂市議会
議長 山田 昌弘 様

派遣議員氏名 前田 尚志

下記のとおり、研修会に参加しましたので、報告します。

記

1 実施日 令和3年8月6日(金) (1日間)

※ 当日不参加(資料、USB音声データ郵送サービス利用)

2 開催場所及び講演内容(詳細については別紙のとおり)

福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル

地方議員研究会主催研修会

「理想の地方議員になるために必要なこと」

「質問づくりのための疑問のすべてに答えます」

講師：宮本 正一 氏 日本公共経営研究所代表

元寝屋川市議会議長

別 紙

講演会名 地方議員研究会主催研修会

8月6日（金） 10：00～12：30

「理想の地方議員になるために必要なこと」

8月6日（金） 14：00～16：30

「質問づくりのための疑問のすべてに答えます」

講師：宮本 正一 氏 日本公共経営研究所代表

元寝屋川市議会議長

【目 的】

地方議員として初心に帰り、今期の議員活動の取り組みや一般質問づくりの基礎を再確認するとともに、議員としてさらに必要な知識を学びたく参加した。

【講演会内容】

「理想の地方議員になるために必要なこと」

地方議会は、憲法第93条において法律の定めるところにより議事機関として議会を設置することとされ、地方自治法第89条の定めにより普通公共団体に議会を置くこととされている。地方議員の権限として発言権、表決権及び動議提出権が付与されており、絶大な権力を有している。

一般質問を行うには、まずは大元の計画を明確にする必要がある。質問にパンチ力を与えるためにも質問項目の設定にあたっては、総合計画のどの計画がベースなのかはっきりさせておくことが重要である。質問と答弁がかみ合うためにも質問通告の内容は具体的な方がよい。与党会派となった場合での役所の動かし方は、従来の地方議員では特定地域・個別団体の代弁者として動かしていたが、新生地方議員は地域社会を成熟させる指導者として役所を動かしていく役割が求められる。

議会に先輩後輩はなく、あるのは何回当選したかという期数である。当選後は4年間の非常勤として、その期間で勝負するように心がけなければならない。何期か

続けようとする匂いを出すことは禁物である。当選するということはその人が匂い、フェロモンを多く出していることであり、何期と考えるとそのフェロモンは薄くなってしまふ。

理事者からの答弁で、「調査研究します」は、何もしないことであり、「検討します」は、何らかの行動を起こすことが期待できると考えられる。

また、木で鼻を括る答弁を突破するためには、この質問をするにあたって基本計画や下部計画のどの部分からということを経験的に言うようにすべきである。さらに、AIが作成できる原稿では理事者側には勝てないため、人間らしい喜怒哀楽を表に出すような質問内容にすべきである。

理想の地方議員とは、①新しい住民ニーズへの対応 ②地域社会が抱える問題の明確化 ③その問題解決に向かうプロセスの可視化 の3点が同時に実現できる者である。

そのための政治活動として、①自治体が抱えている問題点を明らかにする議会レポートの作成・配布 ②それに対する自身の意見を広く街頭演説などで住民に訴え ③住民からは直接意見を聴取する場を設けることができること。

さらに議員活動として、①公聴会や参考人の意見聴取を行う制度を積極的に活用し、②学識経験者・利害関係者の意見を議会の場で公にして住民が市政参画できる機会を積極的に創ることが重要であり、適正な政務活動により議会内外から情報を収集して、首長に対しては批判・追及だけでなく、実現可能な政策提言を行える者が理想の議員といえる。

「質問づくりのための疑問のすべてに答えます」

質問づくりの基礎として執行部との関係がある。与党なのか野党なのか、それにより首長のマニフェストを支持する、支持しない が出てくる。

質問の種類としては、①課題追求型 ②政策提案型 ③自己主張型 があるが、一番大事なのは課題追求型である。例えば、財政課長に対し質問する場合は決算で

勝負することが良い。そこで使うものは実質単年度収支、財政調整基金、経常収支比率、標準財政規模の4つである。

質問づくりの準備として、①国・都道府県等にアクセスして情報収集を行う。インターネットは24時間365日いつでもアクセスできるからである。政府が運営するホームページは情報の宝の山であり、特に総務省統計局やe-Statのホームページは良い。②担当者に電話で直接ダイヤルする。議員は私人ではなく公人であり、議員としての立場を積極的に活用すべきである。国や都道府県職員は意外と親切丁寧であり無料のアドバイザーとして活用できる。③マスコミや警察・保健所等外部団体との定例懇話会を開催する。マスコミや警察と喧嘩してもメリットは一つもない。④住民・関係者から直接入手する。議会レポートは、最低年1回は発行すべきである。大きさは、A4版でカラー印刷が良い。記事内容は、質問内容と視察を中心にすえると良い。相談連絡先の掲載は必須である。配布地区は重点投票区が良い。街頭演説は毎日やる必要はないが、行う回数は大事である。イメージ残像は必須でありその研究は必要である。市政報告会は、年1回は議員活動の集大成として実施するのが良い。地元公民館でミニ報告会でも良い。自信がつけば公開討論会を開催しても良い。

【所 感】

今回の研修会は、新型コロナウイルスの関係で会場へは不参加とし、主催者から郵送された資料、USB音声データによる研修となった。

講師は、大阪府寝屋川市市議会議員として5期20年間、また議長経験者でもある宮本正一氏であり、豊富な議員経験から議員としてのあり方、質問の仕方などについてご教授いただいた。

今後とも、議員に課せられた重責や果たすべき役割など、様々な面で今回の研修会で得た知識を反映させていきたい。

【講師名】

宮本 正一 氏 日本公共経営研究所代表 元寝屋川市議会議長